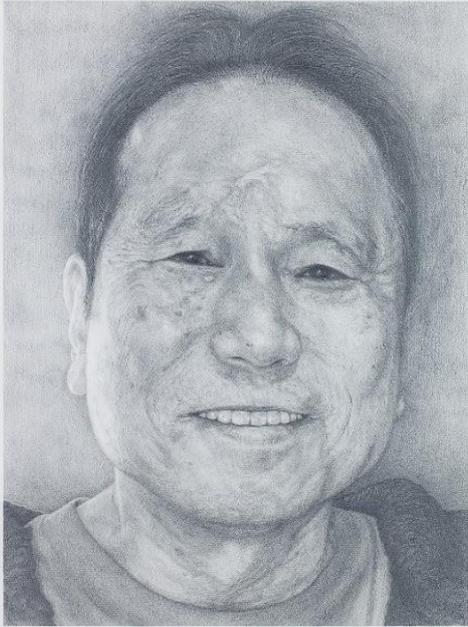


ながさわたかひろが あなたの肖像画、描きます！

2018年、個展「オレ新聞」で約1カ月の滞在制作を行った東根市出身の美術家・ながさわたかひろが、2024年2月、ふたたび東根で新作を披露！
その新作プロジェクトの参加者を市民の皆様から公募いたします！



自分のこんなにすこきな表情!!
はじめて見たよ 近田春又

《愛の近田春又》鉛筆画、サイン 76×58 cm

2018年に開催した展覧会「オレ新聞」後、新たに取り組んできた「愛の肖像画」シリーズは、「に・褒められたくて」(憧れのアノ人へ絵によって思いを伝える、前回出品した版画作品)の後継シリーズで、現在40人超。鉛筆または水彩で、正面からガッツリ肖像画を描いています。

今回、再び展覧会を催すこととなり、もし今後も東根で公開できるのであれば、継続して取り組んでいける企画として、東根市民の皆さんを描こうと思いました。今回3人、次回も3人、展覧会のたびに3人ずつ増えていき、その都度そのすべてが展示されるってのはどうでしょう？

この肖像画は仕上がったらご本人に見ていただき、コメントとサインを書き込んでもらうことで完成します。絵を描くのはワタシ、完成させるのはアナタです。今を生きる東根市民の記録となります。

ぜひ奮ってご参加ください！

(ながさわたかひろ)



写真:2018年
個展「オレ新聞」より

【応募条件】

- 1, 東根市内在住の市民であること
- 2, 肖像画のため本人のみの参加であること
(家族やペットと参加は不可)
- 3, 7/19(水)~7/21(金)のいずれかの日程で
作家の取材対応を受けられる方(夜でも対応可能)
- 4, 年齢不問、自薦・他薦不問

【応募方法】 HP または裏面の応募用紙に記載の上、
まなびあテラスにご提出ください。
(メール、FAX、直接窓口にて受付)

【応募締切】 7/15(土) 必着

【当選者】 限定3名

【当選連絡】 7/16(日)以降、まなびあテラスから
ご連絡いたします。

※出来上がった作品は、2024年2月まなびあテラスの展覧会でお披露目します。

※出来上がった作品の贈呈はありませんのでご注意ください。

ながさわたかひろ

1972年山形県東根市生まれ。美術家。武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻版画コース修了。2010年、野村克也監督の最終年であった東北楽天ゴールデンイーグルス(楽天イーグルス)全試合を銅版画で描き綴った『プロ野球画報』で「第13回岡本太郎現代芸術賞特別賞」を受賞。著作『プロ野球画報 2015 東京ヤクルトスワローズ全試合』(雷鳥社)、『に・褒められたくて／版画家・ながさわたかひろの挑戦』(編集室 屋上)がある。2017年個展「絵描き・ながさわたかひろ、サッカー・FC 町田ゼルビアでブレイク刷ルー！」(町田市立国際版画美術館)、2018年個展 滞在制作「オレ新聞」(まなびあテラス)開催、山形ビエンナーレ 2018 出展。2023年、第26回岡本太郎現代芸術賞入選。